

学友会 コーナー

端艇大会の結果

延期になってしまった端艇大会ですが無事に終わることができました。
結果は以下の通りです。

男子… 1位 2-4 2位 3-6 3位 2-7
女子… 1位 2-6 2位 1-4 3位 1-2
混合… 1位 3-1 2位 3-5 3位 3-2
みなさんお疲れ様でした!!



クラブ紹介-10 ～吹奏楽部～

吹奏楽部は男子5人、女子21人、そして顧問の藤森秀則先生で、仲良く楽しく活動しています。吹部は、個性的な人が多くとても楽しい人ばかりで先輩、後輩関係なく仲が良かったです。時には「シーコール」を浴びてしまう人もいたみたいですが…(笑) 音の目標として『ピー玉』のような丸くて透明感のある…そんな音を目指しています! 後期は、合同音楽会や総合文化祭、アンサンブルコンテスト、フェスティバルなど行事が盛り沢山ですが、部員一同頑張って練習していきたいと思っております!!
(2-5 田中和美)



学友会三役の紹介

こんにちは。後期学友会長の中村智哉です。
清陵祭や夏休みが終わり、学友会是我々2年生に引き継がれ、新たにスタートを切りました。

また今年清陵は百十周年を迎え、歴史と伝統の重みを感じつつ二十一世紀における新たな「自治」の精神を建設していく事が大事だと感じています。「自治の根底は何だろうか?」と考えた時、それは「清陵が好きだ!」という気持ち、すなわち「清陵愛」であると僕は思います。(「金色の民」をやっている時僕はそれをひしひしと感じます)



中田 中村 高井

中国留学生の紹介

留学生のインタビュー

8月25、26日に中国から3人の留学生が来ました。

Q 1、日本に留学した理由は?

A 1、・日本が好きだから。
・日本語が上手になりたいから。
・日本について知ること視野を広げたいから。

Q 2、清陵高校と中国の高校で違う所は?

A 2、・中国は授業ごとに教室や講座が変わらない。
・清陵生は授業中に寝ている人が多い。

Q 3、好きな日本食は?

A 3、エビフライや日本の果物(刺身等の生ものは好きではない)

Q 4、日本でやってみたいことは?

A 4、・浴衣を着たい。
・富士山が見たい。
・温泉に入りたい。

Q 5、どんなお土産を買って帰る?

A 5、日本にしかない有名な物(和紙で作ったしおり e t c . . .)

Q 6、中国のおすすめスポットは?

A 6、・チョモランマ
・杭州
・内モンゴル(乗馬が出来る。30kmの競馬場がある。)

Q 7、今、中国ではやっているものは?

A 7、・日本の漫画が原作の映画「頭文字D」
・韓国の映画(ハ・ヨグジュ)

始めのうち3人も緊張した様子でしたが、インタビューが進むにつれて会話も弾み、楽しいお昼休みになったと思います。みんな日本語がとても上手くて、私たちの質問にしっかり日本語で答えてくれました。中国の文化に触れることができ、私たちにとっても良い経験になりました。



右から
李晨薇(Li Chenwei)さん:高1
邢軍(Xing jun)さん:高1
閻立春(Yan lichun)さん:高2

■ご意見感想をお寄せ下さい■

長野県諏訪清陵高等学校 〒392-8548 長野県諏訪市清水1-10-1 tel.0266-52-0201 fax.0266-57-2426
H.P. http://www.nagano-c.ed.jp/seiryohs e-mail seiryohs@nagano-c.ed.jp

本誌は、県教育委員会教学指導課の17年度創意ある学校経営支援事業により作成しています。本年度は4回発行します。

清水ヶ丘便り

SUWA SEIRYO HIGH SCHOOL NEWS

vol.11 2005.9

編集・発行 長野県諏訪清陵高等学校 教務(広報情報)係

これからの行事日程

10月	4日	クリスマスマッチ
	8日	土曜講座
	13日	防災訓練
	15日	授業公開
	19日	湖周マラソン
	22日	土曜講座
11月	8~11日	研修旅行(2年)
	9~11日	学年末考査(3年)
	21~24日	定期考査③(1・2年)
	26日	土曜講座
12月	1・2日	校内模試②(3年)
	5~16日	懇談会週間
	10日	土曜講座
	17日	土曜講座



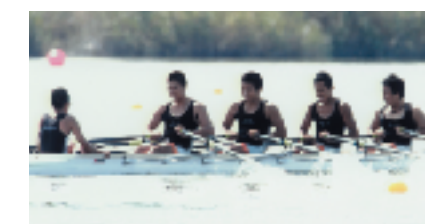
端艇部 全国大会入賞!

8月初旬、千葉県小見川町でおこなわれたインターハイに女子舵手付きクオドルプル・シングルカル(関)が出場、舵手付きクオドルプル(山崎玲香、河西桃子、岩波美樹、山口奈奈、竹原文恵)は見事全国6位に入賞しました。

また、先頃岡山県岡山市でおこなわれた国民体育大会夏季大会でも、本校端艇部(酒井悠佑、青木勇太、小松昌平、藤原昂、中嶋知也)を中心とする長野県選抜が少年男子舵手付きクオドルプルで5位入賞しました。



女子クオドルプル



男子クオドルプル

体験入学に432名

9月10日(土)に体験入学が行われました。34校から432名の中学生が参加して下さいました。

当日は学校長の挨拶、進路係・学友会長の話、入学者選抜についての説明の他、ビデオで本校の様子などを紹介しました。全体会の後、中学生の皆さんは自分達で、授業が行われる教室を探して移動し、2時間の授業体験をしました。午後1時まで開放された校内で昼食を食べたり教室を見て回ったりと、清陵の雰囲気を感じていただけたと思います。

10月には授業公開を予定していますので是非ご来校下さい。



17年度学校評議員のご紹介

8月25日に学校評議員会が行われ、さまざまなお立場から清陵高校に対する期待や要望・ご意見を伺うことができました。

宮坂久臣	岡谷商工会議所会頭
山崎壮一	元諏訪商工会議所会頭
林尚孝	茨木大学名誉教授
佐久隆明	元諏訪中学校長
宮坂直孝	宮坂醸造株式会社取締役
高橋一彦	松本大学予備校校長
内藤恵理子	城南小学校教諭

18年度前期選抜(自己推薦型選抜)

入学者選抜については、本校ホームページ【入学者選抜】の項をご覧ください。随時、詳細が決まり次第ホームページにも掲載致します。

前期選抜(自己推薦型)	
募集枠	募集の観点
普通	本校での学習に必要な学力(特に、英語・数学・国語)があり、高い志と意思をもって自らを高めるべく努力できる者で、次のいずれかに該当する者。
	「高い志」と「自らを高めたい」内容にふれながら、入学後の抱負を述べる。また、各募集の観点をどのように満たしているかを具体的に説明する。
	面接
10	〈個人面接〉 志願理由書にもとづき、「志願理由」「学習状況」「入学後の抱負」等を質問する。
	作文(小論文)
	〈小論文〉 中学校までの教科内容にもとづき、表現力・思考力・応用力等をみる小論文を3つ出題する。 小論文1: 国語的分野 小論文2: 数学的分野 小論文3: 英語的分野
	II 体育的活動や文化的活動において優れた能力を発揮し、県レベル以上の大会やコンクール等において顕著な実績をあげ、入学後も発展させる強い意思がある。



SSH is your future……

今年度最初のサイエンスフォーラム「環境シンポジウム」が開催されました。

大学企業等との連携講座・サイエンスプログラムが本格始動、課題探究では成果が発表されました。

環境シンポジウム



第16回清陵サイエンスフォーラムは国立環境研究所主任研究員である一ノ瀬俊明氏、岩手県立大学助教授である牛山素行氏をお招きし、9月16日諏訪市文化センターで開催されました。環境をテーマに「フィールドの学問・持続可能なアジアのために」「私と自然災害科学研究」と題して全校生徒にお二人から講演して頂きました。その後、会場を移して清陵の先輩であるお二人から研究者への道、また、高校時代の様子などについてお話し頂き、20人余りの生徒と和やかな雰囲気での座談会が行われました。

3年SSH課程生徒 2年に及ぶ研究成果の発表

7月3日清陵祭の一般公開に合わせて、3年SSH課程の生徒による課題探究の発表会が行われました。これは2・3年次に行われる本校独自の学校設定科目「スーパーサイエンス」(週2時間)の授業の一環で、今年度は「ブラナリアの再生」など、8グループがそれぞれテーマを決め、研究の成果を発表しました。

100人を超える参加者の前で、SSH課程2期生の生徒は緊張しながらもこれまでの地道な実験や作業を積み重ねた研究成果に自信が見え隠れしていました。今後の活躍が楽しみです。

生徒研究全国発表会に本校代表参加

東京ビッグサイトに全国のSSH校から代表が集まり日頃の研究成果を発表しました。本校からは「脳の活性化と音」のグループ古田君・小松君・那須君の3名が参加し発表しました。東海大学教授秋山仁先生の「正方形の不思議」と題しての講演、特別発表、ポスターセッションによる発表等が行われ、全国の高校生と交流をしました。文部科学大臣奨励賞には「クマシの研究」(秋田)が選ばれました。



研究テーマ

人工宝石の製作
ブラックジャックで勝とう
新種の植物を作ろう
脳の活性化と音
筋疲労について
ブラナリアの再生
大陸移動の不思議
光センサーとその利用



<課題探究の発表>

科学系クラブ等研究発表

清陵祭や信大理学部自然誌科学館などで科学系クラブ及び課題探究のグループが日頃の研究成果を発表しました。



<化学部の様子>

月/日	SSH実施記録
7/3	課題探究発表会 3年SSH課題(小体育館) 第1回運営指導委員会
7/15	
7/29	化学講座 化学分析技術体験(事前講義)セイコーエプソン 小松忠一氏 2年SSH課程
7/30・31	自然誌科学館研究発表 理科系クラブ等研究発表(信州大学理学部)
8/1・2	化学SP 化学分析技術体験 セイコーエプソン 小松忠一氏 他5名 (富士見事業所) 2年SSH課程
8/3・4	生物SP 遺伝子操作体験実習講座 信州大学生命科学分野 遺伝子実験部門 林田信明助教授、田口悟朗助手、 他3名(信州大学繊維学部) 2年SSH課程
8/8~10	文部科学賞主催 SSH生徒研究発表会 SSH指定校の代表が研究発表。2年SSH課程3名参加 「脳の活性化と音」(東京ビックサイト)
9/16	第16回 清陵サイエンスフォーラム 環境シンポジウム 諏訪市文化センター全校対象 「フィールドの学問・持続可能なアジアのために」 国立環境研究所 一ノ瀬俊明主任研究員 「私と自然災害科学研究」 岩手県立大学 牛山素行助教授
9/17	数学講座 微分積分への招待 信州大学理学部 高木啓行助教授 3年理系希望者



本年度卒業生の一言

本年度卒業生から、随想を寄せてもらいました。



平林 和久 東京大学 理一



大学に入学したのはついこの間のこのようにも思えるのにもう夏学期が終わりました。東京大学では入学時には科類という区分で学部は完全には決まっています。そして進学振り分け制度というものがある、二年生の夏学期までの成績で希望する学部に進学できるかが決まります。よって当面の私の課題は進路を決めること、いい成績をとることです。とはいっても必修の科目以外は多種多様な科目から選んで履修できるので進路や成績と関係なく興味があるから履修した科目も多いです。夏休みが明けたら夏学期の成績と冬学期の科目紹介を見て、自分の進路を考えながら再び履修計画を作っていくこととなります。もちろん学問だけではなく、サークルや文化祭にも参加し充実した夏学期でした。

さて、私が清陵の思い出としてすぐに挙げられるのはSSHや書道部の活動、あと受験勉強です。これらに共通するのは自分に刺激、いい影響を与えてくれる感謝すべき仲間が存在があったことです。ときには相手の意見を参考にし、ときには相手に対立する形で自分の意見、考え方を確立し、どちらも結果としては自分を高めることになりました。書道の技術や受験勉強で得た知識は大学の書道研究会、学問の基盤になっているし、SSHの経験が役に立つこともあります。しかし先日の清陵祭で再会して近況などを語り合えた仲間がいるということもまた素晴らしいことだと思います。

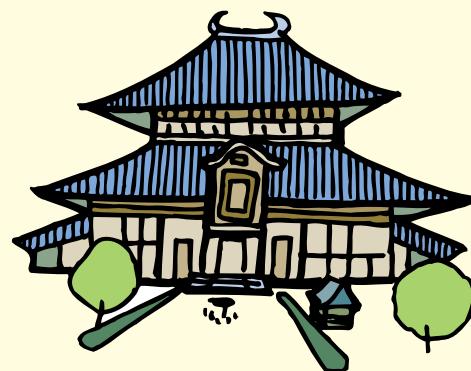
清陵生の皆さん、時間が経つのは速いですよ。どうか仲間とともに充実した高校生活を過ごしてください。そして現状に満足する事なくそれぞれの目標に向かって努力を続けていってください。

社会科雑記

二年生がもうすぐ研修旅行に行きます。奈良・京都に行って、「寺院」・「村落・都市」など日本史、地理、現代社会などで勉強したことに実際に触れてくるのです。しっかりと研修を積んできて欲しいと思っています。

「社会科」というとどうしても暗記が中心となり、机上の勉強というイメージが強いと思います。大学受験を考えた場合、やはり最低限の知識は必要となるのですが、しかし本当の勉強とはそれだけではいけないと思います。清陵の社会科もできるだけ実物を見せたり、写真を見せたりしていますがやはり限界があります。三澤先生は、清陵の授業が終われば、すぐに山に登り、神社仏閣を訪ね、地域に根ざした研究を生徒続けたといわれています。神社では石を削ってお寺の人に怒られたときにも「神社仏閣(ブツカク)、神社ブツカク」と言われたそうです。

学問というのは、実社会をその対象とするのであって、そしてそれを実社会に還元していくものだと思います。「社会科」を勉強する生徒達もそのことを忘れないで欲しいと思います。(社会科)



大学キャンパス見学会を実施

昨年度に引き続き、本年度も貸し切りバスによる大学キャンパス見学会を、7月31日、8月3・5・8日に実施しました。

31日が信州大学、3日が東京芸芸・東京外国語・一橋大学コースと千葉大学コース、5日が東京農工・横浜国立大学、8日が早稲田・東京・東京工業大学の各コースで、昨年を上回る延べ人数75名が参加しました。昨年は3年生主体でしたが、「もっと早い時期(学年)で実施したほうが良い」との反省をもとに、今年は2年生を主体(1年2名・2年63名・3年10名)に行いました。信州・一橋・横浜国立大学は大学側主催のオープンキャンパスに参加する形をとりましたが、他の大学に関しては、清陵側からのお願いに対し、この見学会のためにわざわざ講義や説明会を開いていただき、大学側の配慮やご尽力くださったOBに感謝したいと思います。また今年は、東京大学の見学会に際し、本校卒業生で現役東大生の3名に、学内の案内をお願いしました。その中で、大学や大学生生活、受験に関する質問が清陵生からなされ、年齢が近く、最近の大学受験を経験した者から見た視点で答えてもらうことができ、自分の進路を考える上で大いに参考になったことと思います。

キャンパスに伝統を感じ、研究室を訪問して刺激を受け、学生の様子に触発される大学キャンパス見学会は得る物の多い体験です。個々でもかまわないので休みを利用して、是非、大学を訪れてほしいものです。



<早稲田大学にて>

SSH月間予定表 17年10月

月日	区分	学年	対象講座	内容	講師(敬称略)	場所
10/1	サイエンスプログラム	1・2	希望者	信州大学理学部研究室訪問	信州大学理学部	信州大学理学部各研究室
10/5	生徒交流会	2・3	SSH	大阪府立天王寺高校とのSSH交流会		本校物理室
10/8	サイエンスフォーラム	1	全員	1学年講演会	慶応大学理工学部教授 小池康博	本校小体育館